



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社遠藤製作所

上場取引所 JQ

コード番号 7841

URL <http://www.endo-mfg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 健治

(TEL) 0256 (63) 6111

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 佐藤 俊明

四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	3,886	76.9	323	-	298	-	181	-
22年3月期第1四半期	2,197	△55.9	△205	-	△52	-	△130	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	19	96	-	-
22年3月期第1四半期	△14	36	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	18,115		11,196		61.8	1,233	14	
22年3月期	17,783		10,921		61.4	1,202	84	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 11,196百万円 22年3月期 10,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	-		0	00	-		10	00	10	00
23年3月期	-									
23年3月期(予想)			0	00	-		10	00	10	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	7,605	53.7	387	-	302	-	202	-	22	25
通期	16,144	20.8	1,291	231.8	1,143	150.6	900	-	99	12

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] 3 ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	9,441,800株	22年3月期	9,441,800株
23年3月期1Q	362,300株	22年3月期	362,300株
23年3月期1Q	9,079,500株	22年3月期1Q	9,079,500株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、四半期決算短信 [添付資料] 3 ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新興国向けの輸出の増加や設備投資の下げ止まり傾向等、一部で企業収益に持ち直しの兆しが見られるものの、所得・雇用環境の先行き不安から、個人消費の回復も重く、本格的な景気回復に至らない状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、前連結会計年度において主力のゴルフ事業でアイアンヘッドの鍛造・金型工程を在外子会社へ移管する等、製造コストの低減、リードタイムの短縮、生産の効率化を推し進めることにより、一層の製品の競争力強化と差別化に鋭意取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、受注が回復基調であったこと等から売上高は38億86百万円（前年同期比76.9%増）となりました。利益面につきましては、売上高の増加及び前述の製造工程移管効果等から、営業利益3億23百万円（前年同期は2億5百万円の営業損失）、経常利益2億98百万円（前年同期は52百万円の経常損失）、四半期純利益1億81百万円（前年同期は1億30百万円の四半期純損失）となりました。

なお、四半期純利益は、「資産除去債務に関する会計基準等」が適用されたことに伴い、特別損失に「資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額」64百万円を計上いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (ゴルフ事業)

ゴルフ事業につきましては、若手人気プロゴルファーの効果やシニア層のゴルフ人口の増加、またアジア圏において需要が伸びていること等、ゴルフクラブ市場は僅かながら回復傾向の状況にあることから、売上高は21億93百万円（前年同期比46.6%増）、営業利益は売上高の増加により1億84百万円（前年同期は31百万円の営業損失）となりました。

#### (ステンレス事業)

ステンレス事業につきましては、市場の持ち直しからステンレス製極薄管（メタルスリーブ）の受注が増加したこと等で、売上高は3億35百万円（前年同期比182.7%増）、営業利益87百万円（前年同期は60百万円の営業損失）となりました。

#### (自動車等鍛造部品事業)

自動車等鍛造部品事業につきましては、自動車産業全体の需要の回復が確実なものとなってきていることから、売上高は13億57百万円（前年同期比133.2%増）となりました。営業利益は、売上高が増加したことにより2億6百万円（同673.4%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、181億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億32百万円増加いたしました。

流動資産は、98億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金が増加したこと等によるものであります。固定資産は、82億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億33百万円増加いたしました。この主な要因は、機械装置及び運搬具が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、69億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円増加いたしました。

流動負債は、40億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円増加いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものであります。固定負債は、29億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円増加いたしました。この主な要因は、長期借入金の減少及び資産除去債務の計上等によるものであります。

純資産合計は、111億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億75百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加及びマイナスの為替換算調整勘定が減少したこと等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、20億19百万円（前年同期比4.6%増）の収入となりました。これは主に、売上債権の減少7億51百万円、仕入債務の増加2億77百万円、減価償却費2億74百万円、税金等調整前四半期純利益2億39百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、91百万円（同64.0%減）の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、8億25百万円（同843.0%増）の支出となりました。これは主に、借入金の返済や配当金の支払等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は29億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億32百万円増加いたしました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成22年5月14日付「平成22年3月期決算短信」で公表いたしました平成23年3月期の業績予想は、概ね当初の計画どおりに推移しておりますので、第2四半期連結累計期間及び通期ともに変更はありません。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算出方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

#### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益は、それぞれ1百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は、65百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は87百万円であります。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,554,317	2,530,424
受取手形及び売掛金	3,368,702	4,043,627
有価証券	35,414	35,405
商品及び製品	809,620	554,290
仕掛品	451,911	612,568
原材料及び貯蔵品	1,376,055	1,615,294
繰延税金資産	58,644	13,856
その他	201,551	359,293
貸倒引当金	△19,661	△27,185
流動資産合計	9,836,553	9,737,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,055,147	2,974,830
機械装置及び運搬具（純額）	2,548,051	2,406,716
工具、器具及び備品（純額）	171,106	169,473
土地	1,702,332	1,614,680
建設仮勘定	96,867	165,025
有形固定資産合計	7,573,505	7,330,727
無形固定資産		
投資その他の資産	36,087	35,105
投資有価証券	70,318	77,399
繰延税金資産	5,609	4,231
投資不動産（純額）	347,025	347,759
その他	260,190	264,050
貸倒引当金	△14,166	△13,831
投資その他の資産合計	668,978	679,609
固定資産合計	8,278,571	8,045,441
資産合計	18,115,125	17,783,018

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末  
(平成22年6月30日)前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成22年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,556,905	1,311,020
短期借入金	1,178,311	1,722,000
未払法人税等	160,516	99,871
未払金及び未払費用	852,189	660,293
賞与引当金	129,016	96,575
その他	129,681	86,122
流動負債合計	4,006,620	3,975,883
固定負債		
長期借入金	2,146,729	2,266,562
繰延税金負債	78,253	70,512
退職給付引当金	194,385	176,775
役員退職慰労引当金	199,044	203,107
資産除去債務	88,192	—
その他	205,598	169,030
固定負債合計	2,912,204	2,885,987
負債合計	6,918,825	6,861,871
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,788	1,241,788
資本剰余金	1,183,816	1,183,816
利益剰余金	9,400,875	9,310,478
自己株式	△192,297	△192,297
株主資本合計	11,634,181	11,543,785
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△21,875	△14,795
為替換算調整勘定	△416,005	△607,842
評価・換算差額等合計	△437,881	△622,638
純資産合計	11,196,300	10,921,147
負債純資産合計	18,115,125	17,783,018

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,197,125	3,886,635
売上原価	2,016,416	3,093,668
売上総利益	180,708	792,967
販売費及び一般管理費	386,582	469,305
営業利益又は営業損失(△)	△205,874	323,661
営業外収益		
受取利息	833	391
受取配当金	878	853
投資不動産賃貸料	6,121	4,483
為替差益	192,282	14,582
その他	7,823	6,054
営業外収益合計	207,939	26,366
営業外費用		
支払利息	25,275	27,744
減価償却費	13,692	15,118
シンジケートローン手数料	6,849	5,836
その他	9,064	3,234
営業外費用合計	54,881	51,934
経常利益又は経常損失(△)	△52,816	298,093
特別利益		
固定資産売却益	3,526	2,925
貸倒引当金戻入額	16,616	7,188
特別利益合計	20,142	10,114
特別損失		
固定資産売却損	3,188	1,841
固定資産除却損	6,151	1,883
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	64,878
特別損失合計	9,340	68,603
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△42,013	239,604
法人税、住民税及び事業税	71,240	95,133
法人税等調整額	17,134	△36,720
法人税等合計	88,375	58,413
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△130,389	181,191

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△42,013	239,604
減価償却費	292,313	274,680
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	64,878
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16,353	△7,188
賞与引当金の増減額(△は減少)	△45,174	32,441
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	21,814	△4,062
受取利息及び受取配当金	△1,712	△1,245
支払利息	25,275	27,744
為替差損益(△は益)	△23,712	△39,479
有形固定資産売却損益(△は益)	△337	△1,084
有形固定資産除却損	6,151	1,883
売上債権の増減額(△は増加)	2,341,053	751,289
たな卸資産の増減額(△は増加)	152,448	211,137
仕入債務の増減額(△は減少)	△806,007	277,639
未収消費税等の増減額(△は増加)	136,744	37,183
その他	57,727	140,443
小計	2,098,217	2,005,865
利息及び配当金の受取額	1,522	1,008
利息の支払額	△26,758	△28,806
事業再編による支出	—	△1,192
法人税等の支払額	△141,776	△38,113
法人税等の還付額	—	80,551
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,931,206	2,019,313
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	239,599	110,303
有形固定資産の取得による支出	△493,170	△202,911
有形固定資産の売却による収入	469	6,627
無形固定資産の取得による支出	—	△4,761
その他	△961	△595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△254,062	△91,337
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△772,250	△540,000
長期借入れによる収入	954,000	—
長期借入金の返済による支出	△171,159	△184,675
リース債務の返済による支出	△7,323	△9,943
配当金の支払額	△90,795	△90,795
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,527	△825,413
現金及び現金同等物に係る換算差額	63,394	30,418
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,653,011	1,132,980
現金及び現金同等物の期首残高	1,962,851	1,805,407
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,615,862	2,938,388

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	ゴルフ事業 (千円)	ステンレス 事業 (千円)	自動車等鍛 造部品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,496,258	118,755	582,110	2,197,125	—	2,197,125
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,229	—	—	2,229	(2,229)	—
計	1,498,488	118,755	582,110	2,199,354	(2,229)	2,197,125
営業利益又は営業損失(△)	△31,475	△60,109	26,658	△64,927	(140,946)	△205,874

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
ゴルフ事業	アイアンヘッド・アイアンクラブ、 メタルウッドヘッド・メタルウッドクラブ等
ステンレス事業	ステンレス製極薄管(メタルスリーブ)
自動車等鍛造部品事業	自動車鍛造部品、自動二輪鍛造部品等

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	日本 (千円)	タイ・ベトナム (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,613,022	584,102	2,197,125	—	2,197,125
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	89,671	2,444,909	2,534,581	(2,534,581)	—
計	1,702,694	3,029,012	4,731,706	(2,534,581)	2,197,125
営業利益又は営業損失(△)	△135,649	59,428	△76,221	(129,652)	△205,874

(注) 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	749,984	589,089	81,676	1,420,750
II 連結売上高（千円）	—	—	—	2,197,125
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	34.1	26.8	3.8	64.7

- （注） 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。  
 2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。  
 (1) アジア……………タイ、中国、ベトナム他  
 (2) 北米……………米国、カナダ  
 (3) その他の地域……オランダ、英国、スペイン他  
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域に対する売上高であります。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

しがたって、当社グループは、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ゴルフ事業」、「ステンレス事業」及び「自動車等鍛造部品事業」の3つを報告セグメントとしております。

「ゴルフ事業」はゴルフヘッド及びゴルフクラブを生産しております。「ステンレス事業」は、ステンレス製極薄管（メタルスリーブ）を生産しております。「自動車等鍛造部品事業」は、自動車鍛造部品、自動車二輪鍛造部品及び農作業車両鍛造部品を生産しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	ゴルフ事業	ステンレス 事業	自動車等鍛 造部品事業	計		
売上高						
（1）外部顧客に対する売上高	2,193,279	335,673	1,357,682	3,886,635	—	3,886,635
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	2,457	—	—	2,457	△2,457	—
計	2,195,736	335,673	1,357,682	3,889,092	△2,457	3,886,635
セグメント利益	184,124	87,341	206,161	477,627	△153,965	323,661

（注） 1. セグメント利益の調整額△153,965千円には、セグメント間取引の消去△2,457千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△151,508千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。